

対策概要: 激甚化、頻発化する災害から速やかに復旧・復興するためには、道路ネットワークの機能強化が必要。発災後概ね1日以内に緊急車両の通行を確保し、概ね1週間以内に一般車両の通行を確保することを目標として、災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能を確保するため、高規格道路のミッシングリンクの解消及び暫定2車線区間の4車線化、高規格道路と代替機能を発揮する直轄国道とのダブルネットワークの強化等を推進。

府省庁名: 国土交通省

東九州自動車道 清武JCT～北郷

■ 実施主体

国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所

■ 事業概要

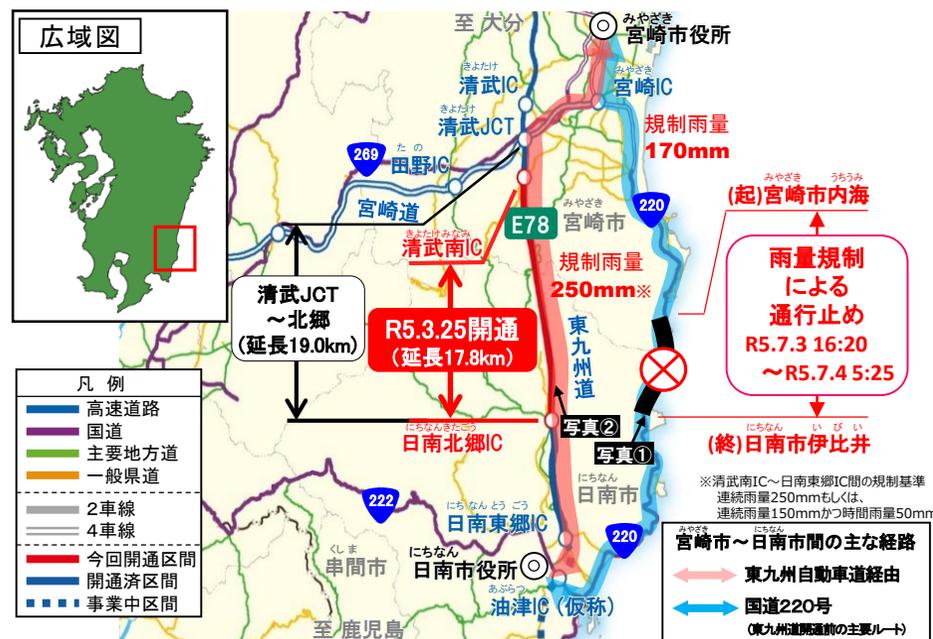
東九州自動車道 清武JCT～日南北郷IC間(延長19.0km)は高速道路 ネットワークの一部を構成しており、九州東部の広域的な連携や、物流の効率化及び地域の発展、災害に強い道路ネットワークの構築等のため整備を実施した。

■ 事業費 : 1,622億円

(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)15億円)

■ 効果

令和5年梅雨期の大雨において、日南市伊比井地区では、規制基準を超える連続雨量194mmを記録し、国道220号は約13時間の全面通行止めを行ったが、**令和5年3月25日に開通した東九州自動車道 清武南IC～日南北郷IC間が迂回路となり、代替機能を発揮した。**



▲写真① 国道220号における規制(伊比井地区) (令和5年7月3日～4日)



▲写真② 東九州道 清武南IC～日南北郷IC間 (令和5年3月25日: 開通時の状況)